



いきものふれあいの里

「陶史の森」 だより

土岐市ネイチャーセンター ☎5144

ヒツジの愛称決まる

9月の「陶史の森まつり」でヒツジの愛称を募集しました。たくさん応募の中から、もうすぐ13才になる雌を『メリー』、生後半年の雄を『シヨーン』、同じ頃に産まれた雌を『メイ』と名付けました。これからもかわいがってください。

ヒツジはウシ科の動物で、主に羊毛(ウール)を取るために飼育される家畜です。ほとんど草しか食べないのに、あんなに大きな体になれるのは、彼らの胃に秘密があるからです。

ヒツジなど反芻動物の仲間は4つの胃を持っています。反芻とは飲み込んだ食べ物を再び口の中に戻して、また飲み込むことをいいます。ヒツジが草を食べていない時でも口を動かしているのはそのためです。

ヒツジの胃は、食べた物を細かく砕いて消化しやすくしているだけではありません。さらに驚くことに、胃の中にはさまざまな微生物が生息し、その力で、人間では消化できないような草の繊維質までも分解して栄養にしているのです。

私たち人間も、何でも鵜呑みにせず、ヒツジのように何度も反芻し、しっかりと価値あるものを吸収したいものです。まもなく立冬です。ウールが体を温めてくれるでしょう。

森の日記

陶史の森まつり 9月10日(土)

好天に恵まれ、第32回陶史の森まつりが行われました。ちびっ子相撲大会や、毛糸紡ぎ、丸太切り体験などのコーナーに、たくさん子どもたちが参加しました。

人気のマスカミドリ大会では、子どもたちが全身ズブ濡れになりながら、逃げる魚を必死に追い掛けている姿がありました。



草木染め教室 9月18日(日)

身の回りの草木を用いた草木染め教室が行われました。栗のイガ、カリヤス(イネ科の多年草)などの草木を煮出し、思い思いのデザインで絞りなどの加工をした白布を浸しました。参加者は世界に一つしかない、自然の色合いで染められた作品をお互いに評価し合っていました。

教室のご案内

11月

- 秋の天体教室(要申込・定員20人)
11月5日(土)午後7時~9時
月のクレーターを天体望遠鏡で観察(雨天中止)
- 葉っぱのしおり作り(要申込・定員20人)
11月13日(日)午前9時~11時30分
紅葉した葉っぱを使ったしおりを作る
- バードウォッチング(自由参加)
11月27日(日)午前9時~11時30分
秋の野鳥を観察(雨天中止)

12月

- 正月飾り教室(要申込・定員20人)
12月11日(日)午前9時~11時30分
木の実などを使った正月飾りを作る
- バードウォッチング(自由参加)
12月18日(日)午前9時~11時30分
冬の野鳥を観察(雨天中止)

陶史の森は自然環境保護地域です。動植物や石などは絶対に採らないでください。また、ペットの同伴はご遠慮ください。